

地域防災力向上セミナー

「昭和 51 年台風第 17 号災害から 40 年～土砂災害に備える～」
の開催について

昭和 51 年 9 月 8～13 日に襲来した台風 17 号は、上陸前に長期間日本付近に停滞したことで、九州から中部地方にかけて記録的な大雨をもたらしました。

徳島県木頭村日早では総雨量が 2781mm に達して、特に美馬市穴吹町古宮、同口山地区では集落が全滅するような大災害を蒙りました。

今年には昭和 51 年台風第 17 号災害から 40 年となります。この豪雨災害からの教訓を継承し、更に将来の豪雨と土砂災害に備えるために地域防災力向上セミナーを実施します。

(報道概要)

- 日時:平成 28 年 12 月 11 日(日)13:30～16:00(開場 13:00)
- 会場:美馬市穴吹農村環境改善センター 多目的ホール
- 定員:150 名(入場無料)
- 主催:徳島大学環境防災研究センター, 徳島地方気象台, 美馬市
- プログラム:

13:30 開会挨拶 美馬市長 藤田 元治

13:35 「昭和 51 年台風第 17 号豪雨について」

徳島地方気象台 予報官 打越 充

14:05 「昭和 51 年台風第 17 号豪雨による徳島県内の洪水・土砂災害」

徳島大学環境防災研究センター 防災科学部門主任 西山 賢一

14:45 休憩

15:00 座談会 「台風第 17 号の被災体験者を語る」

大西 孝司氏

谷脇 茂信氏

(司会 西山 賢一)

16:00 閉会挨拶

徳島大学環境防災研究センター センター長 中野 晋

〔問い合わせ先〕 徳島大学環境防災研究センター 鳥庭

TEL:088-656-8965 FAX:088-656-8017

Email: toriniwa@tokushima-u.ac.jp